

未来をつくる kaigo カフェ

～対話がつくる新しい介護の世界～



未来をつくるkaigoカフェ
高瀬比左子代表

介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員。大学卒業後、一般企業を経てNPO団体で高齢者ボランティア団体設立支援に従事。その後ヘルパー講座の立ち上げや訪問介護事業所の立ち上げに関わる。現在は有料老人ホームのケアマネージャーとして勤務しながら「未来をつくるkaigoカフェ」を主宰し、対話を通じて介護の新しい未来を模索している。
「未来をつくるkaigoカフェ」
FBページ <http://www.facebook.com/mirakaigocafe>
HP <http://www.kaigocafe.com/>

第15回 先進的なサ高住の取り組み

「モデルケースとして発信を」

11月10日に開催した未来をつくるkaigoカフェは千葉の築園台にオープンしたサービス付き高齢者向け住宅「銀木屋」で開催された。テーマは、「これは千葉の高齢者住宅に求められているものか？」でした。

銀木屋の建物や居住空間、音楽サークルやダンスプログラム、地域との関わりなど様々な取り組みのお話を聞く中で、その人にとって自由な生活やリスクと一体何なのかについて考えさせられました。

また、従来の施設サービスではどうしてもケアする側が「管理する」という発想になりがちですが、自由な中にも安心があり、リスクは日常の楽しみや生きがいで回避するという発想や、住み慣れた在宅の延長線上で生活ができるには一体何が必要なのか、生活の場をつくるのは一体どういふことなのかを考えるような高齢者住宅の在り方を

「これからは自らの意志や趣向を大切に考える高齢者が増えてくる中で、さらに多様なニーズを満たせる住宅のあり方が求められます。サービス付き高齢者向け住宅が増加する中で、まずは情報をオープンにする、特徴や強みを知ってもらうことが大切です。また、その発信力を高めていくことが介護業界の活性化やイメージアップにつながるのではないかと思います。」

また、カフェの参加者のみなさん、ラボレーションをしながら、貢献できるような取り組みをいきたいと思います。

人材・キャリア・介護スキル